円高是正で反転攻勢へ布石

工作機械

引き合いは回復傾向

販売の足を引っ張ってきた円高が是正し、明るい雰囲気が漂ってきた工作機械業界。受注額はまだ低迷しているが、引き合いは徐々に上向いており、夏ごろから回復局面に入るとの期待が膨らんでいる。こうした中、各社とも生産体制の改革や海外の販売拠点拡充など、これからの反転攻勢に向けて布石を打っている。

海外市場に照準

日本工作機械工業会（日工会、横山元彦会長＝ジェイテクト会長）がまとめた3月の工作機械受注実績（速報値）は前年同月比21・6％減の903億7900万円で、11カ月連続のマイナスだった。決算期末に受注が集中したことや円高修正で5カ月ぶりに900億円台を回復したものの、「本格回復にはいま一歩」「市況としてはまだまだ」と、工作機械メーカーからは足元の景況に不満が漏れる。

一方で、中部経済産業局がまとめた、東海・北陸における工作機械メーカー主要8社の2月の総受注額は同10・2％増の317億4900万円と13カ月ぶりに前年を上回った。前月比でも22・0％増だった。ただ、この増加の要因は2012年2月の落ち込みが大きかったことによる反動増の側面が強く、「プラスが続いていくのか、まだ予断を許さない」（中部経済産業局製造産業課）状況にある。

それでも、同局のヒアリングには、「米国は財政の崖（がけ）を乗り越えて堅調」「欧州も最悪期は脱して、徐々に調子が上がっていくのではないか」「中国は新体制で上向くことを期待する」といった海外受注の見通しについて前向きの声が届き始めた。その一方で、今後の国内受注には厳しい見方が根強いようだ。「良くて横ばい」（同）との見込みの国内受注をいかに守りつつ、海外市場の成長をいかに取り込むかが工作機械メーカーの経営の要点となる。

そのような環境のもと、ヤマザキマザックは4機種、立型マシニングセンター（MC）「バーチカルセンタースマート」2機種。いずれも機能を絞った低価格帯の小型機械で、これで新工場の技術力を蓄える。製品は日本市場に投入し、価格は従来よりも約10％安くした。

新工場稼働は世界各地の市場の状況に合わせ、最適な生産体制を組む成長戦略の一環。為替は円安方向に振れているが、「現地マーケットでの競争力を強化する目的で、海外工場での生産機種、台数の拡充を図る」（山崎智久ヤマザキマザック社長）というヤマザキマザックの方針は変わらない。14年には米国ケンタッキー州とシンガポールのそれぞれの工場も拡張する計画だ。

米国工場は旋盤とMCを生産し、米国内の需要をまかなっているほか、生産量の10％程度をカナダ、南米に輸出している。現在、月135台の生産能力を拡張で200台に引き上げて、市場の伸びが見込める米国や、カナダ、メキシコの需要の取り込みを図る。

米国工場強化のもう一つの狙いは韓国市場だ。米韓間の自由貿易協定（FTA）締結で、米国から韓国への輸出がしやすくなったことから、日本発の韓国向け製品の一部は米国発に変更。FTAを競争力向上に有効活用する戦略だ。

小型旋盤の供給拠点となっているシンガポール工場の拡張も、東南アジア諸国連合（ASEAN）やインドの市場成長をカバーするのが目的。世界市場の動向を見据えた最適生産の環境づくりに余念がない。

ジェイテクトは生産ラインをメーンとサブラインに分ける「フィッシュボーン方式」を導入

米・欧・アジアの拠点拡充
競争力高め最適生産

拡張するヤマザキマザック米国工場

国内生産を変革

一方、5月の一部稼働に向けて、愛知県大口町にある本社工場のリニューアル工事を進めているのがオークマ。13年を生産改革元年と位置づけ、「日本で作って世界で勝つ」を実証する高効率生産のひな型として、本社工場を再生させる。機種ごとに部品から機械本体までを一貫生産する体制に作り替え、工程短縮とコスト削減を実現。これにより、国内で生産した製品でも、「世界で戦えるプライスにする」（花木義麿オークマ社長）ことに挑む。

ジェイテクトも国内生産の変革を断行している。工作機械を生産する刈谷工場（愛知県刈谷市）で取り組んでいる刷新計画「刈谷ReBORN」では、生産ラインをメーンラインとサブラインに分ける「フィッシュボーン方式」を導入。生産ラインの形を魚の骨に見立て、小骨のサブラインで部品やユニットを生産し、背骨のメーンラインに送って組み立てる。組み付け時の調整がなくなるので、技能工は本来の業務に集中でき、品質安定やコスト、工期低減の効果がある。

世界市場を見据えた各社の体制強化は生産のみならず、販売面にも及んでいる。

ヤマザキマザックは3月に韓国の販売・サービス拠点「韓国テクノロジーセンタ」を華城市内で移転し、開設した。ショールーム面積は434平方㍍と既存の約1・5倍の広さに拡大。同様に、ブラジルでもショールームを移転・拡大し、6月にオープンさせる予定である。

オークマも海外販売網の拡充を加速。3月にフランス・パリ市内にある「フランス・テクニカルセンター」を移転・拡大させ、ショールームを従来の倍以上に広げた。

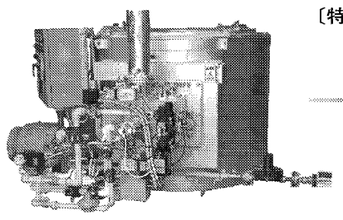
このほか、13年内を目標にして、タイの既存テクニカルセンターも移転し、規模を増やしてリニューアルする考え。また、13年前半をめどに、ベトナムにテクニカルセンターを新設する検討をしている。

リニューアル工事中のオークマ本社工場

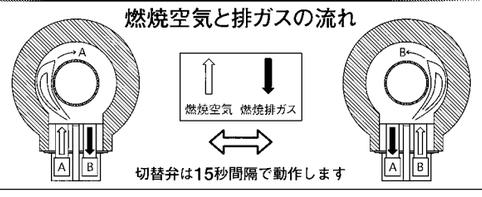
機種ごとに一貫生産
工程短縮・コスト削減実現

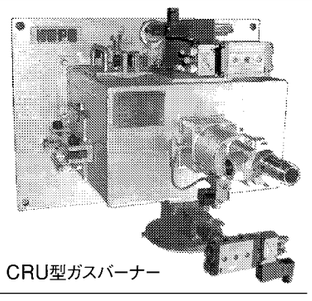
HOPE　クルーシブル セルフ リジェネバーナー

〔特 長〕・燃焼火炎を右旋回と左旋回に切替弁を実現
・ローカルヒートを防ぎルツボが長寿命の向上に貢献
・省エネ効果発揮で50％のCO_2削減
・1台のバーナーで蓄熱燃焼を可能にする


CO_2 50％削減

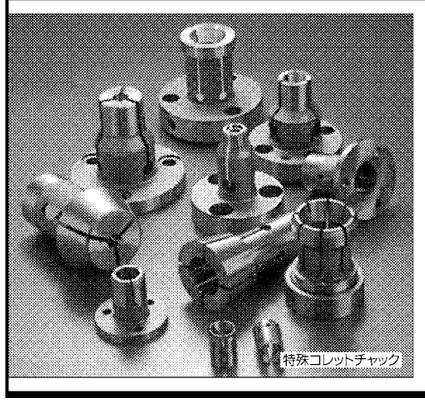
燃焼空気と排ガスの流れ



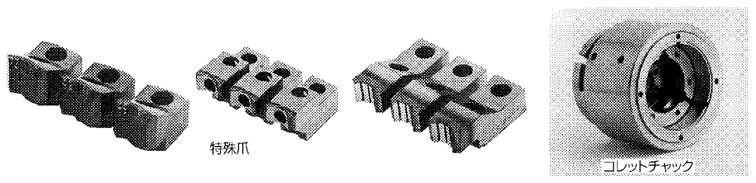

CRU型ガスバーナー

株式会社 横井機械工作所　本社・工場 〒463-0002 名古屋市守山区中志段味大洞口2720-1 電話(052)736-0773 FAX(052)736-0258
URL▶http://www.yokoikikai.co.jp　E-mail▶eigyo@yokoikikai.co.jp

GOOD FOR YOU & BEST FOR THE MACHINE



特殊コレットチャックから ダイヤフラムチャック フィンガーチャック パワーチャック用特殊爪 の受注生産



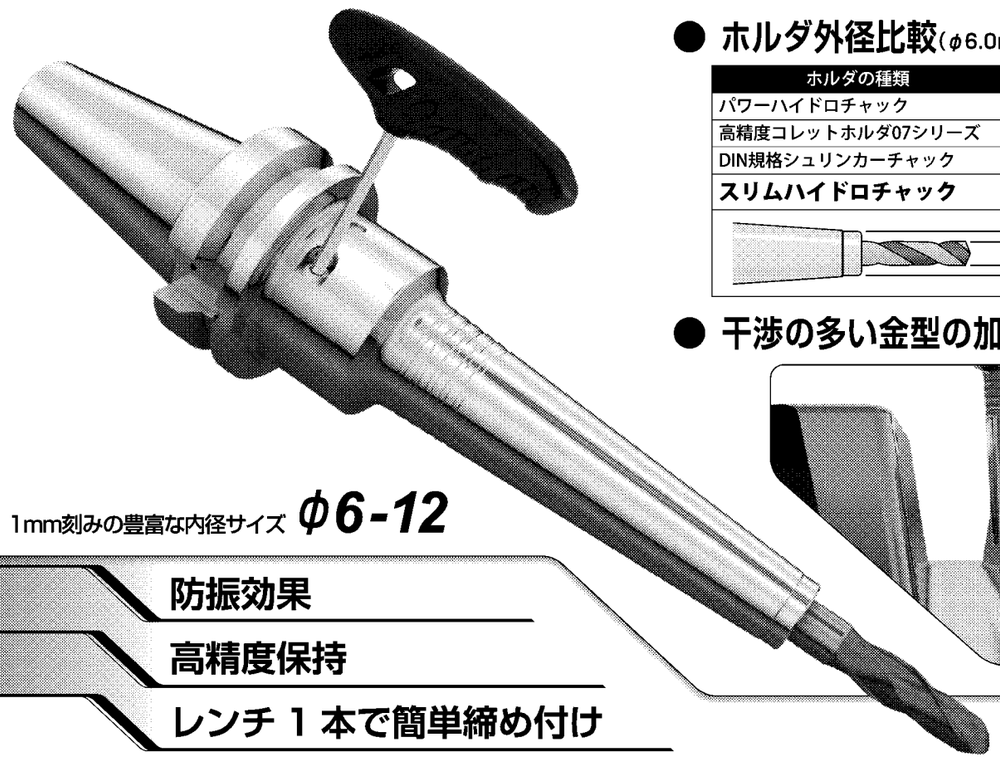
高精度治工具の設計・製作致します。　渡邉鐵工株式会社
〒443-0045 愛知県蒲郡市旭町15番14号 ☎〈0533〉68-4134㈹ FAX〈0533〉68-7559

OSG PHOENIX®
MEDTEC 2013 Japan 4月24日㈬～25日㈭東京ビッグサイト 西2ホール 1983

私たちが生み出すツールたちが未来を創造します。
フェニックス ―不死鳥のように―

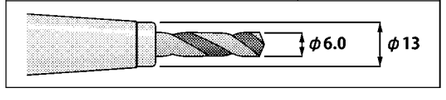
ツールコミュニケーション オーエスジー
本　社 〒442-8543 愛知県豊川市本野ヶ原3-22 TEL(0533)82-1111 FAX(0533)82-1131
東部営業部 TEL (03)5709-4501 中部営業部 TEL(052)703-6131 西部営業部 TEL(06)6538-3880
ホームページ http://www.osg.co.jp/
〈工具の技術的なご相談は…〉コミュニケーションダイヤル 0120-41-5981（よい工具は一番）9:00～12:00／13:00～17:00 土日祝日を除く
コミュニケーションFAX 0533-82-1134　コミュニケーションE-mail hp-info@osg.co.jp
無料メールマガジン OSG E-mail倶楽部
E-mailで最新情報をお届けします。
入会窓口は https://www.osg.co.jp/support/club/index.php
〈その他のご相談は…〉E-mail:cs-info@osg.co.jp

細身ホルダのすぐれもの！　NEW!
スリムハイドロチャック PHC・S

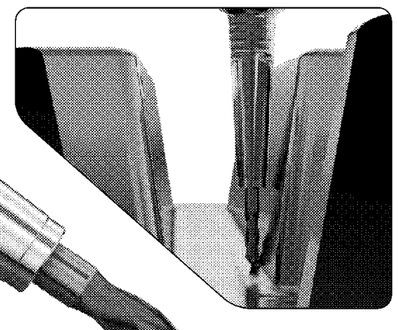


● ホルダ外径比較（φ6.0mmの刃物の場合）

ホルダの種類	外径寸法(mm)
パワーハイドロチャック	φ24
高精度コレットホルダ07シリーズ	φ23
DIN規格シュリンカーチャック	φ21
スリムハイドロチャック	φ13



● 干渉の多い金型の加工などに。



1mm刻みの豊富な内径サイズ φ6-12

防振効果
高精度保持
レンチ 1 本で簡単締め付け

エヌティーツール株式会社 www.nttool.com
本社：愛知県高浜市芳川町 1-7-10 TEL〈0566〉54-0101
東京営業所 / 大阪営業所 / 広島事務所 / 飯田工場 / アメリカ / ヨーロッパ / 中国 / タイ / インドネシア
加工の問題点をお知らせください。お客様とともに、問題解決にむけてご協力させていただきます。
テクノコール 0120-04-0102　テクノメール technomail@nttool.co.jp